

風立ちぬ

風の街の中学校の窓から

庄内町立立川中学校
学校だより
2015. 11. 2

文責：校長 石崎幸宏

文化祭「唄よ響け 想いよ届け」②

引き続き、10月25日（日）に行われた文化祭の各学年各学級代表の「文化祭を終えて」の感想を掲載します。

得たものがたくさん



1年A組

文化祭を終えた今、改めて感じたことがあります。大変だったこと、悔しかったこと、楽しかったこと。1年A組は残念ながら賞をとることができません。それはとても悔しいです。でも、そう思えるのは2、3年生の先輩達の本気でぶつかってきてくれたからです。だから、そのことにはとても感謝しています。賞をとれなかったからといって失ったものはありません。逆に得たものがあると思います。1つは、前よりクラスが団結したことです。他にもたくさん得たものがあります。それをこれからの生活に生かしていきたいと思います。ここで終わらないでこれからも前に進んでいきます。

文化祭を通して学校全体で高め合う

3年BC組

私は文化祭で「最優秀賞をとる」ことを目標に練習をがんばりました。最初は私語をする人が多く、きれいなハーモニーにもならずとても感動できる合唱とは言えませんでした。ですが、練習が進むにつれて、歌詞の意味を考えて歌ったり、自分達で改善点を意識するようになりました。少しずつ合唱も良くなり、毎日の合唱練習がとても楽しみでした。本番では、今まで言われてきたことを意識して、楽しんで合唱することができました。他のクラスもとても上手で、結果発表の時はとても不安でした。でも、私達の想いが伝わり、最優秀賞をとることができて、とてもうれしかったです。3BCで、

このメンバーで合唱することができて本当にうれしかったし、文化祭を通して学校全体で1つの目標に向かってがんばり、お互いに高め合えました。最高の思い出になりました。3BCのみんなありがとうございました。

「SHINKA」した力をこれからの

1年A組

文化祭を終えて「本当に良かった。」と思います。練習のとき、初めは全員本気ではありませんでした。口を開かない、声を出さない、適当にやる人が半分位いました。だんだん文化祭が近づいてくるといふのに、全くやる気の無い人が数人いて私は「いい加減まじめにやってよ」と怒りがこみあげていました。本当に良くなったのは、本番の2日前で、全員で本気になり、「絶対良い文化祭にする」という思いが伝わってきて、歌っていて、今までとは違ってとても気持ちよかったです。自然に笑顔になりました。当日の最後の練習のときは、五十嵐先生にもほめられ、全員が自信をもって合唱することが出来ました。観客の方がたくさんいてとても緊張しているとき、指揮のふたりが笑わせてくれて、良い表情で歌うことが出来て良かったです。賞を取れず、とても悔しかったけど、合唱で「SHINKA」した力をこれからの生活に生かしていきたいです。

思いを伝えることができた合唱

2年A組

練習からあまり声が出せず、けんかのようになってしまったことがありました。自由曲の「親知らず子知らず」は難しい曲で、強弱をつけたり伸ばしたりする所を気をつけながら、気持ちを込めて歌いました。他学年の発表を聞き、どの学年も声が出ていて体育館中に響いていて鳥肌が立ちました。特に3年生はさすがだと思いました。当日は思いを伝えられる合唱ができて本当にうれしかったです。有志発表は楽しい発表ばかりで、とても盛り上がりました。総合発表では、どの学年も学んだことを伝わりやすく楽しく発表していました。最後クラスみんなで笑えてよかったです。

